

第42回大垣市景観遺産審議会 会議録

日 時：令和5年8月29日（火） 13時20分から15時20分まで

場 所：大垣市役所 4階 情報会議室

議 題：大垣市景観遺産及び景観自慢の指定について ほか

出席委員（敬称略）

溝口 正人（会長）、高木 朗義（会長代理）、鈴木 隆雄、杉原 重明、谷口 隆康
【計5名】

市及び事務局

真鍋 和生（都市計画部長）

清水 克人（都市計画課長）

渡部 晃司（都市計画課技術対策官）

伊藤 孝弘（都市計画課景観整備グループ主幹）

篠田 尚志（都市計画課景観整備グループ主査）

服部 仁貴（都市計画課景観整備グループ主任）

田中 一輝（文化振興課郷土歴史・文化財活用グループ主査） 【計7名】

事務局
(都市計画課長)

(開始時刻 13:20)

※開会にあたって委員の過半数出席による会議の成立を報告。また、委員委嘱状を配布していることを説明。

※都市計画部長あいさつ（略）。

※議事進行は、大垣市景観条例施行規則第39条第2項の規定により、会長が会務を総理することとあるが、今回は委員委嘱後初の審議会であり、会長及び会長代理の決定まで事務局にて議事進行することを報告。

※本日の審議会は、景観遺産・景観自慢の指定候補物件の選考ということで、資料には個人に関する情報なども含まれており、大垣市情報公開条例第6条に定める非公開情報についても審議することになるため、本審議及び今後の審議についても同様に非公開とすることを報告。

※議事(1)、会長及び会長代理の選任を行い、委員の互選により溝口委員を会長に選任。また、溝口会長の指名により、高木委員を会長代理に選任。

※溝口会長あいさつ（略）。

※高木会長代理あいさつ（略）。

<p>委員</p>	<p>※ここからの議事については、大垣市景観条例施行規則第39条第2項の規定により、会長が審議会を総理することを報告。</p> <p>※議事(2)に移行。議事録署名者として鈴木委員を指名。</p> <p>※令和5年7月18日付け「大垣市景観遺産及び大垣市景観自慢の指定について（諮問）」を報告。</p> <p>※事務局に対し、説明を要請。</p> <p style="text-align: center;">《物件審議》</p>
<p>事務局 (都市計画課担当)</p>	<p>【No.1 ■■■■■】</p> <p>※物件の説明。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業をされていたという説明でしたが、門塀の構えは家屋敷の風情有あり、お百姓という印象ではありませんね。
<p>事務局 (都市計画課担当)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所有者から、■■■■■という名字の謂れについて、先祖の方が■■■■■をしていたからだと説明を受けました。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・■■■■■は何かご存知でしょうか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか見どころのある外観だなと思っておりました。大垣藩士の■■■■■として、隠密活動のようなことをしていたのでしょうか。だから城下ではなく、少し離れた場所に住んでいるのかなと感じています。■■■■■も、西美濃特有の大屋根の上に乗せてあり、当時、疫病や悪霊が屋根から入ってくるという信仰に基づいて、それを防ぐために設置してあるものだと思います。■■■■■の形も色々あり、型を使って大量生産されるのですが、見たことのない■■■■■のスタイルだと思いました。南を向いているのは、南側のお寺の鬼瓦を睨み返しているのだらうと思います。■■■■■は確かに関西の影響でしょうけれど、周りが水路に囲まれているので、防腐剤の意味もあるのかなと感じました。雑多ですけども、色々見どころがあるなと感じました。
<p>委員 事務局 (都市計画課担当)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらの方は現在何をされているのですか。 ・所有者の方は、現在は一線を退かれてみえますが、昔は■■■■■の■■■■■にお勤めだったとのこと。お名前は■■■■■さんという方なのですが、ご祖父様が■■■■■で、■■■■■はお姉様が継いで、ご自身はご尊父様の代からの■■■■■を名乗っているとのことでした。■■■■■という名前を残したいとの思いで、自薦により応募がありました。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・■■■■■という名字は、■■■■■によくあるのでしょうか。あまり馴染みのない名字です。農業をやってみえたのであれば、地主さんでしょうか。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。門塀も本格的ですし、元々が武士であるということならわかりますが、江戸時代なら百姓は名字を名乗ってなかったのでしょうから、不思議な感じがしますね。平成12年には、■■■■まで造られたというのも不思議ですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・写真にございます手前の新しい建物が■■■■で、室町様式の■■■■を造りあげたとのことですよ。
(都市計画課担当)	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・航空写真を見ると、■■■■は母屋の手前にあることがわかります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これが■■■■ですね。であるなら、やはり農家で、作業場のような場所があり、そこに■■■■を造ったのだと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・明治30年に建てられたとのことですが、様式に統一感があまりなくて、どういう歴史をお持ちの家なのかということが、よくわかりません。例えば、■■■■にしても紅殻にしても、一つひとつはありふれたものですね。■■■■にも統一感を感じられません。これだけ大きな敷地を所有しているからには、お百姓だけではないのではないかと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・お話を聞く限りでは農家であったとのことでした。ただ、知人から、■■■■という名字は、■■■■だったからではないかと指摘されて、そうに違いないと確信を持たれたようです。
(都市計画課担当)	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ある種の普請道楽な印象を受けます。母屋は一般的な農家の造りですが、そこから平成に至るまで普請道楽で屋敷構えが造られている様子で、今時こんな■■■■を造られるのはすごいと思います。近年は使用されているのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・奥様が■■■■を嗜まれるそうで、以前は■■■■も開いていたとのことですが、新型コロナの流行により、機会が無くなってしまったとお聞きしました。
(都市計画課担当)	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・あの■■■■といい、門塀といい、およそお百姓さんの屋敷構えではない気がしますね。■■■■の仰るように、統一性がなく、景観遺産としてどこに焦点を当てるかが難しいですね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後でも、この■■■■のあたりは、もうひとつ東側の通りは昔からの景観を残していますが、ここに一軒だけこういう形で残っていて現在も住んでいるというのは、地域とどのように関わっているのかが、よくわかりませんので、現地でももう少し話を聞いてみたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・状況確認も含めて、現地審査で所有者にお話を聞けたらと思います。評価付けが非常に難しいですね。事務局から報告を聞く限りだと、時代時代の要素が混在しているような印象です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この建物のすぐ南、駐車場になっているところが、■■■■の■■■■が合ったところでしょうか。ご当主が■■■■の管理をされていたのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・■■■■は近くにあったことは間違いないと仰っていました。管理そのものをされていたわけではないようですが、跡地を何かしらの形で
(都市計画課担当)	

委員	<p>整えていきたいという思いはあるようです。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・■■■■さんは、埋蔵文化財の世界では有名な人ですが、■■■■を建てられる等の背景に、■■■■があったりするのかなという気がします。是非、現地へ行く際には、ご当主にお話を伺いたいと思います。
(都市計画課担当)	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の方で、調整させていただきます。 ・現状になった経緯も含めて、景観遺産というのは次代の人も見通した話になってきますので、現地にて審査をして、できれば所有者にお話を伺うということにしましょう。
全委員	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし。
事務局	<p>【No.2 ■■■■】 ※物件の説明。</p>
(都市計画課担当)	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・■■■■の■■■■ですか。平成21年度に審議したとのことですが、当時に評価を付けているということでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度では、状態があまりよくないとの評価が多くあり、結果的には除外となっていました。ただ、その時には補助金制度がございませんでしたので、この度の応募で再度諮問させていただきました。
(都市計画課担当)	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この建物は、当時内部へ入りましたか。近くまでは行ったように思うのですが、はっきりとした記憶がありません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も記憶にないですね。最初の時なので、会長と杉原先生と私の3人が参加していると思いますが、中までは入っていないと思います。入っていたらもう少し印象に残っていると思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は「わがまち興文」の頃に行った覚えがあります。この審議会ではないですが、その時も中まで入ってはいないですね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前を通った記憶はあるんですよ。どこかへ行く途中にさっと通ったくらいで、紹介はあったのですが、やはり中は入ってないですね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・■■■■の東の道を通っただけで、■■■■の前の道は細くて、入っていけない場所だったように思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・■■■■で研究会があるときによく行ったのですが、道も一方通行でしたよね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一方通行ですね。そこから東へ行く道が狭くて、なかなか行けません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらの物件は、先程の■■■■と比べると、由緒・来歴がはっきりしていて、屋敷構えも含めてどうでしょうね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・■■■■というのは、郊外の宅地開発の会社でしょうか。時代的には、名古屋でも土地開発会社が創られて、今で言うところの高所得者向けの宅地開発が行われたりしていて、色々な土地開発会社が区画整理などの手法で住宅を整備することが盛んだった時期ですが、逆に、

<p>事務局 (都市計画課担当)</p>	<p>大垣の近代で都市が発展する中であまり注目されていない、[REDACTED]の開発というものが、あったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここも現地にて審査という取り扱いにしたいと思います。平成21年という、一番初めですか。 ・そうです。大変多くの物件をご審議いただきました。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもたくさんありましたね。厳選して審議したため、書類審査で整理をして、現地に行く物件を絞っていましたから、そこで選ばれなかったものですね。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は現地審査と致しましょう。
<p>事務局 (都市計画課担当)</p>	<p>【第3号議案 大垣市景観自慢】 ※5物件をまとめて説明。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これらについては、当時の評価の判断とは違う、ここをもっと評価すべきだというような、我々評価する側の基準の変化があるのか。また、物件そのものが当時の状態から、景観を形成する、遺産に該当するような変化があったのかがポイントになってくると思います。 ・まずは[REDACTED]ですが、この鎌倉・室町というのは本当にそうなのでしょう。現地を見て、その時代のものかはっきりしないとなるといかがでしょうか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんとした文献が残っていればいいですが、私も中へは入ったことがありませんのでわかりません。
<p>委員 文化振興課担当</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これは文化財に指定されていますか。 ・市の重要文化財として指定しています。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そういうことであれば、ある程度は文献があるはずですよ。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の文化財でしたか。それなら時代は確定していると考えていいですね。景観遺産としてはどうかということですが、門の前を含めた佇まいは雰囲気があります。文化財指定があるということは、維持はされていくのでしょうか。 ・地元の思い入れがとても熱かった[REDACTED]は、どうなっていますか。社殿の彫刻などはとても豊かでしたね。明治以降、国家信仰の影響で流造のとてもさっぱりとした社殿が全国で多い中で、大垣市の社殿は力が入っているものが多いと感じます。そういう意味では、この社殿も立派なのですが、景観として見た時にはどうなのだろうというところがポイントになります。[REDACTED]については、その後管理はどうなっていますか。
<p>事務局 (都市計画課担当)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の自治会で管理されているようで、定期的に剪定なども行っているとのこと。特段変わったことはありません。

委員	・ そうですか。杉原先生はどう思われますか。
委員	・ 私が住んでいる地域もそうですが、お宮さんの松や杉、桜は、維持管理が非常に難しいです。本殿を大事にするために、神社庁にお願いして許可を得て伐採していく傾向にあるものですから、地域の人たちが大事に守っているというのは大変珍しいですね。ただし、景観遺産となると、やはり難しいと思います。
委員	・ 景観遺産となるとそうですね。景観自慢はもう少し身近なものをピックアップしていくとか、現在は、景観遺産には至らない物件を景観自慢にしている感じですが、むしろ日常の中のいろんなものを積極的に景観自慢に指定していくというアプローチもあるかなと思いますね。
委員	・ この[]については、先生方の積極的な意見が無いのであれば、様子を見ようと思いますが、いかがでしょうか。
全委員	・ 異議なし
委員	・ []についても状況は変わっていないようですね。
事務局 (都市計画課担当)	・ そうですね。すべてコンクリートで固められている状態でした。盗難を防止するためとのことです。
委員	・ これは文化財指定されていますか。
文化振興課担当	・ 市の史跡です。
委員	・ そうでしたね。確かにこういったものは盗難の危険もありますが、史跡として保護の手が差し伸べられていて、景観の面とは異なる面で評価がされているのであれば、それでよいという思いもあります。
委員	・ []ですが、これは街道から奥に入ったところにあるということでしたね。
委員	・ なかなか気が付かないところに建っていますね。
委員	・ これも史跡としてはとても重要ですよ。
委員	・ 今年は[]が久しぶりにありましたが、たくさんの方があそこを通ってお参りされていましたが、気が付かれたのでしょうか。
委員	・ これは市の史跡ですか。
文化振興課担当	・ こちらは登録されておられません。
委員	・ これについては、市史に記述があったはずですよ。
委員	・ 市史に書きましたね。ただ、景観としては、なかなか難しいのではないかと思います。
委員	・ 石造物として、文化財になりそうな印象を受けます。それも難しいのでしょうか。
文化振興課担当	・ 文化財としても評価しづらいところがあります。
委員	・ 景観遺産としては難しいでしょうが、可能であれば石造物として指定してもいいのではないかという意見が、景観遺産審議会からあったと、文化振興課に申し伝えておいてください。
文化振興課担当	・ 承知しました。

委員 事務局 (都市計画課担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・ [] そのものは、今後どういう扱いになるのでしょうか。 ・ 今も事業はやってみえるようなので、すぐに閉めてしまうということは無いと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近では昭和レトロ系のものが流行ですが、建造物として見た時、この物件は流行のもですね。所有者は景観自慢であることはご存知ですね。
事務局 (都市計画課担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご存知です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所有者さんに、今後維持していく意向はあるのか、事務局の方で確認しておいてください。
事務局 (都市計画課担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 承知しました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ このくらいのものだと、国に出せば、国の登録有形文化財にはなりませんね。戦前のこうした建物は、資料不足もあるし、市史でも扱いづらいですよ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうですね。明確な資料が残っていないので難しいですね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に大きな変化はないということですね。一度、今後の保存の意思について、確認をとってもらいましょう。その後に再度審議ということにしたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ [] も難しいですね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私の個人的な思いですが、 [] を見て心が動かされるというか、入り口でもあり、出口でもあり、許容と拒絶の両面を持つ。鎌倉時代室町時代と時代背景もしっかりしているのであれば、感慨に浸れると思います。
委員 文化振興課担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ これは市の文化財でしたね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうです。市の重要文化財に指定しています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ [] なので、格式はありますね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ この辺りは、 [] といって、中世の文学に登場するところとして、直ぐ近くに、 [] という石碑もあるのですが、その街道が右へ行く道なのか左へ行く道なのかの特定はできませんが、 [] としては、郷土性をイメージできる建築物かなと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ では、 [] は、先程の2件と含めて現地で改めて確認するということがよろしいでしょうか。
全委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なし。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。続きまして、報告事項に移行します。事務局から報告をお願いします。
事務局 (都市計画課主幹)	<p>※報告事項に移行。</p> <p>※「(1)景観遺産第7号及び景観遺産第93号について」、「(2)令和5年度都市景観大賞について」、「(3)今年度の取り組みについて」を説明。</p>

	<p>※「(4)今後のスケジュールについて」へ移行。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。全体を通して質問や意見がございましたらよろしくお願いします。
	<p>《質疑応答》</p>
<p>委員 事務局 (都市計画課主幹)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は何か考えている活動はありますか。 ・まだ構想段階なので、実現できるかはわかりませんが、フォトコンテストを実施したいと考えております。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の話をしたのは、以前にも2回ほど話したことがあるのですが、今回は景観遺産の応募が2件だったということで、景観遺産になったものをPRしていくという事後活動も大切ですが、事前活動として、あなたも探そう景観遺産というような形で、写真撮影を含めてやってもらうとか、事前から参画できるイベントを考えていただく。そういうやり方もあるのではないかと考えていて、参加した人が、自分が発見したものが景観遺産や景観自慢になったということ、子供はとてうれしいと思うので、そういった取り組みも検討していただきたいと思います。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大垣市には、観光ガイドを行う、案内の会の方々がいらっしゃいましたね。
<p>事務局 (都市計画課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。墨俣で6月に景観遺産めぐりを開催する際は、ふるさと案内の会、いき粋墨俣創生プロジェクト、墨俣体育振興会の皆さんに、道案内やガイドなどのご協力いただいております。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年、墨俣でふるさと案内の会に参加しまして、昔市役所に勤めていらっしゃった方と話していたのですが、だんだんガイドする人が減ってきてしまい、活動する人が少なくなっている中で、こういった取り組みは必要だと思いますので、積極的にお願いしたいと思います。
<p>事務局 (都市計画課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間新型コロナの関係で開催できない期間がありましたので、ご自分たちで勉強会をしていたと伺っておりましたが、やっと、少しずつですが動き始めたとのこと。活動も活発になってきており、県内外からも参加者が集まってきている状況ですので、今後、検討させていただきます。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・独自でやると結構大変だと思いますので、例えば、商店街のちょっとしたお祭りだとか、いろんな場所でイベントがあると思いますが、そういうところに情報提供して、その方たちと一緒にやるといいかなと思います。お客さんも外からも来ますし、それだと独自にやるよりも負担は軽くなりますし、うまく連携していくといいかなと思います。 ・また、以前にも提案しましたが、高校生は総合探求の学習の時間があり

<p>委員 事務局 (都市計画課長)</p>	<p>ますので、高校生向けにこういうものを活用してもらおう。公立高校であれば大垣市には東西南北と、私学であれば大垣日大等がありますけれど、そういったところに情報提供していくと、生徒の中には興味を持って、自分でやってみたいという子も出てくるかもしれないので、そういうのもいいかなと思います。ある市では高校生が街歩きのガイドをやっているところもあります。自分たちの街を外から来た人に知ってもらいたい、自慢したいという気持ちでご案内するところや、英語のガイドを高校生が行うということもあります。外国人の方向けのガイドは、英語のトレーニングにもなりますので、うまく連携を図るといいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。他にはよろしいでしょうか。以上で本日の審議を終わらせていただきます。事務局に進行をお返しいたします。 ・長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。本日は、次に向けてのキーワードをいただきました。イベント化やアンケート、高校との連携など、本日いただいたキーワードについても考えていきたいと思っております。それでは、以上をもちまして、第42回景観遺産審議会を閉会とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。 <p>※閉会</p> <p>(終了時刻 15:20)</p>
--------------------------------	---